

第13回

子ども・若者ケアラーをテーマにした事例検討会

～若者ケアラーの声をもとに考える～

参加者募集のご案内

家族のケアを担う子ども・若者のことを、ここでは<子ども・若者ケアラー>ととらえたいと思います。この集まりでは、事例を通して学業との両立や友人関係、進路や恋愛など、ケアが子ども・若者の生活や人生設計にどのような影響を及ぼしているのかについて理解を深めながら、今後の支援策を検討していきます。

今回は、現在社会人の若者ケアラーの方をお呼びし、自らがこれまでに担ってきたケア経験や思いをお話しいたします。

日時

3月20日(土・祝)

13:00～16:00(開場12:30)

会場

- ①京都市中央青少年活動センター
中会議室(定員:15名)
- ②オンラインによる参加(定員:15名)

MAP



申込方法

①②ともに下記の通り受付。

<申込方法>HP・メール・電話・直接来館にて受付

<参加対象>13歳～30歳までの青少年、

もしくは教育・医療・福祉・地域等で若者に関わる方
チラシ左下にある主催者の連絡先までお問い合わせください。

(メールの件名に「子ども・若者ケアラー事例検討会」
本文に、名前・年齢・ご所属・電話番号とあわせて、
当日の参加方法「①来館」もしくは「②オンライン」の選択、
記載をお願いします。)

□ 内容

- 1. 子ども・若者ケアラーとは?
～プロジェクトの取り組みについて～
- 2. 報告者のお話と意見交換

◇◆報告者◆◇

若者ケアラー当事者(20代)

■新型コロナウイルス感染症対策の実施について■

参加者・スタッフの体温計測・手指消毒や備品の消毒・会場の換気等を徹底します。

※今後の情勢によってはオンライン参加のみの開催となる場合がございます。

ご参加にあたり、ご理解とご協力をお願いいたします。

□ プロジェクトについて

プロジェクト・リーダー

齋藤 真緒(立命館大学教授)・濱島 淑恵(大阪歯科大学准教授)

2017年3月より開始した本事業は、これまでに全11回の事例検討会開催を通じて子ども・若者ケアラーの実態の一端を明らかにしてきました。ケアそのものの捉え方の多様性や選択の方法を青少年や支援職者とともに考え、当協会の領域であるユースワークの観点から社会に向けて継続的に発信をしています。

※本プロジェクトは齋藤 真緒教授(立命館大学)をプロジェクトリーダーとし、研究調査の一環として関係者および京都市ユースサービス協会が運営するものである。

主催:

公益財団法人 京都市ユースサービス協会



〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262(3階)

TEL: 075-213-3681 MAIL: office@ys-kyoto.org

HP: <http://ys-kyoto.org/>

京都市ユースサービス協会は、
若者とともに未来を描き、
若者が生きやすい社会をつくれます。